

## ～南海トラフ巨大地震と大正区の地震防災～

主 催：大正区、公益社団法人地盤工学会関西支部

東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震は、海溝型地震の恐ろしさをまざまざと私たちに見せつけました。近畿地方においても、南海トラフ巨大地震の発生確率が高まっていることはよく知られています。そして、現在、南海トラフ巨大地震に対し様々な防災対策の取り組みが行われています。

大阪湾に面した埋立地である大正区は、地震による大きな揺れに加え、津波の来襲の危険性が指摘されています。地面の揺れは地盤の地下構造によって大きく異なります。以前より、大阪では、過去の地盤調査結果がデータベース化され、それに基づいて大阪平野の地下構造が解明されてきました。その成果に基づき、地域防災対策支援研究プロジェクト（文部科学省、H25-H29：三村衛代表）では、大阪平野の地下構造と地震災害との関連を研究しています。その研究成果を広く一般市民の方々に還元することは、地震防災について大変重要なことだと思います。

ところで、今年は、阪神・淡路大震災から 20 年目に当たります。この 20 年の間に様々な地震が日本を襲いました。阪神・淡路大震災における実体験や東日本大震災の支援活動における情報は、単に防災対策だけでなく、地震後、生活が正常化するまでの間、どのような問題が起こり、どの様に解決していくかということ、地震に遭う前に備えることの重要性を考える上で非常に大切なことであると思います。

今回、そのような問題に詳しい地盤工学の専門家と阪神・淡路大震災の体験者においていただき、南海トラフ巨大地震における大正区での地震防災対策についてお話しいただく講演会を下記の通り企画いたしました。皆様が何を知っておくべきか、何をすべきかを考えるヒントになれば幸いです。多数ご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

### 記

日 時：平成 27 年 12 月 19 日（土）13：30～16：50

場 所：大正区民ホール

大阪市大正区千島 2-7-95（大正区役所 4 階）

受 講 料：無料

定 員：250 名（多数の場合抽選）

内 容：

13:30～13:40 開会挨拶

筋原 章博（大正区長）

13:40～15:00 講演「大阪平野の地盤と南海トラフ地震による被害の想定

～自分の足元を知って有効な防災対策を～

三村 衛（京都大学教授）

15:20～16:40 講演「あっ 地震だ！～その前に備えを～」

片瀬 範雄（神戸防災技術者の会）

16:40～16:50 閉会挨拶

橋本 正（地盤工学会関西支部 支部長）

申込み方法：はがき、FAX、E-mail にて「大正区民防災講演会参加希望」と明記の上、住所・氏名・電話番号を記入してお申し込みください。また、地盤工学会関西支部 HP (<http://www.jgskb.jp/>) から直接お申し込みいただくことも可能です。

申込みを受け付けた後に、参加証をお送りしますので、当日ご持参下さい。

申込み期限：平成 27 年 12 月 11 日（金）必着

申込み・問合せ先：公益社団法人 地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1 丁目 5 番 7 号

ストークビル天満橋 801 号室

電話：06-6946-0393、FAX：06-6946-0383、E-mail：office@jgskb.jp

以上